



長田会計事務所

2017年7月号

Vol. 134

通信



TOPICS



- ◇ 老子「上善の言葉」
- ◇ 人の輪 数珠つなぎ ~株式会社Lakshimi 藤田哲士社長 インタビュー~
- ◇ 長田会計事務所 部活報告！ 快適部 美化おもてなし課 編
- ◇ 老子勉強会を始めました
- ◇ 長田会計事務所の〇〇なコト
- ◇ お仕事備忘録
- ◇ 編集後記

老子「上善の言葉」

聖人は、はら な腹を為して目を為さず。

聖人は自分の内なる力を大事にして、感覚の楽しみを追わない。



宮下真著「心の疲れがすうっと消える 老子 上善の言葉」より引用

情報が過多な現代に自分の軸を持っていないと、いつも外に判断を求めがちです。
自分の内なる声、感性に聞き、価値観に照らし合わせると、快楽に流されることはありません。



【発行者】

長田会計事務所
大阪市中央区徳井町2-2-9-701
TEL 06-6944-2111 FAX 06-6944-2110
Mail nagata@office-smile.jp
HP <http://office-smile.jp/>

【編集部】

編集長 大江 未咲 (おおえみさき)
部員 遠藤 悅代 (えんどうえつよ)
小倉 優花 (おぐらゆうか)
発行責任者 長田 雅子 (ながたまさこ)



人の輪 数珠つなぎ

弊所とお付き合いのある、元気なお客様を紹介するコーナー。

第5回目は、株式会社 Lakshimi 藤田 哲士社長 をご紹介します！

株式会社 Lakshimiは加圧トレーニングのスタジオやネイルサロンを運営されています。

長田所長（以下 長）加圧トレーニングを始めたのは、何かきっかけがあったのですか？

藤田社長（以下 藤）製薬会社で勤めていた期間が長かったのですが、仕事柄、接待や同僚とお酒を飲みに行く機会が多く、気づいたら気になる体型になっていました。また健康診断に行っても尿酸値が高いなど血液に影響が出始めて、このままではいけないなと思い、加圧トレーニングに通い始めたのがきっかけです。

通い始めると思いのほか体に変化があり、面白いなと思いました。製薬会社時代、不健康な人が増えれば薬が売れるという矛盾や、病院のなるべく早い段階で薬を処方するというやり方に疑問がありました。自分自身は学生時代からずっとスポーツをやってきたので、基本に戻って自己免疫を高めることであまり薬などを飲まないで済む健康な人を増やしたいと思いました。これまでスポーツをやってきたので周りにトレーナー経験をもった人がたくさんいたこともあり、一緒にやらないかと友人たちに声を掛け加圧トレーニングのスタジオを始めることにしました。

起業をして今年で10年目になるのですが、当時は加圧トレーニングをやっているところは少なく、大阪に30店舗くらいしかなかったと思います。今は150店舗くらいまで増えています。

長 現在は4店舗まで広げられていますが、どのような想いで経営をされていますか？

藤 体をつくることやダイエットを考えた時、体が歪んでいると内臓機能が弱くなり代謝も悪くなるのですが、体を整えてからトレーニングを始めると効果が高くなります。またトレーニング後は体が疲労して張るので、できるだけその状態から解放した方がいいです。そこでトレーニングの後いち早くリンパマッサージをして回復させます。そうすると翌日は体がすっきりしています。

来られるお客様はアスリートではないので、苦行のように体を痛めつけても仕方がない。頑張るために体を整え、頑張ったらすぐに回復できるようにしています。この想いを江坂南店で展開しており、加圧トレーニングと整骨院とリンパマッサージを組み合わせた効果的な仕組みを作りました。この店舗は自分がやってみたかったことが凝縮しています。

長 社名の由来は何ですか？

藤 インドの女神の名前です。美と富の神様で、きれいになって幸せな人生を築いていくというイメージで付けました。

長 心と体は一体なので、どちらも健康になると幸せになると思います。

この仕事をやっていてよかったですと感じることはありますか？

藤 最初の頃のお客様があそこに行けば何とかしてくれるという感じで、出産を経てまたお店に戻ってきてくださったり、東京に転勤になったお客様が、大阪に戻ってきたときにまた来てくださったのは嬉しかったです。

良いトレーナーを見つけたと言っていただけがありますが、お客様は何のトレーニングをするかより、誰からトレーニングを受けるのかを重要視されていると感じます。単に加圧トレーニングをしに来ているのではなく、そのトレーナーのトレーニングを受けにきているという様な人間関係ができれば、お互いに想いを伝えやすくなり効果も出やすいと思います。

長 トレーニングをするときに心がけていることはありますか？

藤 なるべくお客様に近い存在でいることを心がけています。トレーナーはいつも運動していたり、食事も気をつけていて自分とは違うと思われがちです。近寄りがたく、意見を聞き入れにくいと思われないように、お客様と同じであるということを伝えます。お客様によって違いますが、それぞれ近いポイントを探しながらお話しします。

長 それは安心感がありますね。同じだということはコミュニケーションの基本ですね。

店舗が増えるにつれて社員数も増えたと思いますが、ご自身の想いは社員さんとどのように共有されていますか？



インタビューの様子
(左側が藤田社長)

人の輪 数珠つなぎ

藤 月に1回はミーティングを行っていますが、それだけではなかなか伝わりません。一緒にお酒を飲みに行って話すこともありますが、根本はお客様から教えていただくことが多いと思います。お客様と関わることで、うまくいかず悩んだ時に、社員からすぐに聞ける存在でいたいと思っており、こちらからはあまりうるさく言わないようにしています。

長 現在の事業で課題はありますか？

藤 たくさんあります。まずはトレーナーの高齢化です。40歳を超えている人が多いのですが、本当は20代や30代前半のトレーナーがいるほうがいいと思っています。そこで一昨年からプロテインの販売事業を始めました。今までではお客様と1対1で接する事業でしたが、今後はインターネットを使って商品を売っていくことも考えています。商品も自社で考えてつくっていきたいと思っています。特別なことはできないので、今あることを活かしながらやっていきたいです。

また、江坂南店でやっている整骨院・加圧トレーニング・リンパマッサージの流れのあるスタジオを開いていきたいと考えています。ただスキルがないと成立しないので、すぐに広げるのはなかなか難しいです。

長 他にはありますか？

藤 トレーナー自身の人間力をあげる必要があります。お客様が良いように変わるきっかけになるトレーナーであるべきだと思っています。

例えば痩せたいというお客様がトレーニングだけではなかなか変化がなく食事制限をする場合があります。その場合もトレーナーの声のかけ方によって、お客様自身が糖質や油など取りすぎているものに気づき、減らさないといけないと思っています。ダメだというのは誰でも言えるので、トレーナーがどのようにお客様に影響を与えていくかが大切だと思います。

一人一人のスキルがあがつていけば、よりよい店になると思います。

長 体も心もカウンセリングするような感じですね。

藤 食育のイメージでお伝えさせていただいている。でも「制限」という言葉はあまり使わないで、自分の体にあった食事を見つけていくために食事日記をつけて欲しいです。日記をつけると何を食べたら翌日の体重が増えるとか、何時くらいに食べたら朝の調子が悪いということが見えてきます。食事が体にどのように影響しているか傾向がわかれれば、自分の体のことをもっと自分で考えるようになります。

長 今後は会社をどのようにしていきたいですか？

藤 分社化していきたいと思っています。イメージ的には自分の下にたくさんの成功者がいて、その人たちがまた成功者をつくるていく感じです。早く自分で店をもって、周りからうまくいってるねと言われるような人材を育てていきたいです。

長 そうするとどんなことがありますか？

藤 ハッピーなスタッフが増えます。ハッピーな人が教えているとお客様も楽しいと思うので、ハッピーの輪が広がって欲しいです。

長 ここに来ると体とともに心も豊かになっていく感じがします。

お忙しい中、インタビューにお答えいただき、ありがとうございました。



加圧スタジオLakshimi+

(江坂店) 〒550-0053 大阪府吹田市江の木町2-33 第3梓ビル3F

お問い合わせ : 06-6310-9511

(江坂南店) 〒564-0043 大阪府吹田市南吹田3-7-26 藤田マンション1F

お問い合わせ : 06-6170-3160

(大阪福島店) 〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島2-7-24 NANEIビル3F

お問い合わせ : 06-6940-6477

(守口店) 〒570-0017 大阪府守口市佐太東町2-9-10 ジャガータウンイースト3F

お問い合わせ : 06-6906-1000



■HP: <http://lakshimi-kaatsu.com/> ■E-mail: info@lakshimi-kaatsu.com

老子勉強会を始めました

長く本誌をお読みくださっている方はご存じの通り、本誌には「偉人のことば」が1年を通じて掲載されています。誰のことばにするかは所長が決定します。2017年は老子の「上善の言葉」を選びました。

今年から少し変わったことにお気づきでしょうか？

昨年まではまでは、本を1冊決め、その本から引用させていただいていました。今年からは引用するだけでなく、弊所としてどのように理解したのかを掲載しようということになりました。

サブ教材
『バカボンのパパと読む
る
老子』
ドリアン助川 著



教材
『心の疲れがすうっと消え
老子～上善の言葉』
宮下真 著

まずは教材として上の2冊を用意し、さて、どのように掲載しようかということになりました。最初は編集長大江がひとりでもくもくと記事を作成していたのですが、やはり難しいため時間がかかります。そこで、「全員で読み解いてみませんか？」という提案をしました。

弊所では、月初め5日前後に「月初めミーティング」が行われます。1日かけて、報告をし、課題を話し合ったり、企画を作ったりします。このミーティングの午後の部1番目に「老子勉強会」を30分行うことになりました。



「老子勉強会」の様子



しばらく黙って文章を読み、「私はこう理解しました」とか、「これはこういう意味かな」と話しながら、自分たちの仕事や生活に落とし込んでいくと、最初とは少し違った着地点に辿り着きます。

テーブルに模造紙を広げ、色鉛筆やペンを持って、話したり、絵にしたり、書いたりしていると、不思議と、何となくまとまってくるのです。

この時間を持つことで、「自分の思ったことを話す」ことを習慣づけていけることが、弊所の「安心して自分のことを話せる」社風づくりに役立っていると思います。

若手のスタッフは会計のこと、税務のことでは所長やベテランスタッフに敵いません。教えてもらうことばかりです。しかし、「老子の話」となると、所長もベテランも若手もなく、皆同じ条件の下、思ったことを話せます。ルールはただひとつ。「他の人が話しているときはさえぎらない」これだけです。

お菓子を食べ、お茶を飲みながら、誰かの話に耳を傾け、話したいと思ったことを話す。

この時間を1ヶ月30分持つことが、所長を含めたコミュニケーションにいい影響を



長田会計事務所 部活報告！ 快適部 美化おもてなし課 編

4月から「部活」がスタートしました！

現在は5つ※の部が活動しており、職場の快適化やセミナーの運営など様々な分野で活動しています。

そんな部活の内容や様子を順番にご紹介します。

第2回目の部活報告は、「快適部 美化おもてなし課」をご紹介します。

※訂正：先月の5月6月合併号で、7つの部活が活動しているとご紹介したのですが、実際は5つです。訂正してお詫び申し上げます。

部活名

快適部 美化おもてなし課

活動の目的

誰もが居心地のいい事務所にする。

活動の内容

そうじ、整理整頓、来客・電話応対

部員

小向紗妃（部長）、福本夏子（副部長）、玉川晃基

部長よりひとこと

スタッフだけではなく、インターン生にも協力してもらい、事務所をより過ごしやすい空間にするために活動しています。

より多くのお客様に来ていただけるように日々のおもてなしや環境づくりに取り組んでいますので、ぜひお気軽に事務所へお越しください！



昨年作成したスタッフ紹介ボードをリニューアル。
事務所に来られた際はチェックしてみてください！



先日、エアコンの風が直接当たらない
ように風よけを設置しました。

小向 紗妃 (スタッフ)

「ポップコーン」



映画を見に行ったときは必ずポップコーンを食べます。

私の中では映画鑑賞=ポップコーンであり、ないと映画の楽しみが半減してしまいます。なので朝一番の上映でも、レイクショーでも、ご飯を食べてお腹がいっぱいでも必ず食べます。それに映画を見るときのポップコーンは、普段食べるよりも格別においしいと感じます。

定番の塩・キャラメルから、バターしょうゆ・明太子・コンソメなど味のバリエーションも豊富です。また映画とコラボした期間限定のフレーバーが追加されたり、映画館ならではのポップコーンがたくさんあります。

映画に集中できないのでは?と思う方も多いと思います。そう思った方に一度食べてほしいです。食べ始めてみるときっとポップコーンの沼から抜け出せないようになると思います。



長田 豊

「囲碁」



インターネットの碁対戦。

勝つために、左手で箸を持って食べたり、パソコンのマウスを持ったりして、右脳を活性化させ、勝率を上げる努力をしている。

勝つと次も勝ちたくなるし、負けると悔しくて勝ちたくなる。

やめられまへんなあ。

社会保険関係の提出が目白押しです。また、夏季休暇は、事前に取引先への周知を徹底し、取引先の休暇状況もあわせて確認しておきましょう。

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 1. 所得税の予定納税額の減額申請 | 2017年7月
お仕事備忘録 |
| 2. 労働者死傷病（軽度）報告の提出 | |
| 3. 健康保険・厚生年金の「被保険者報酬月額算定基礎届」提出 | |
| 4. 中元の発送、暑中見舞い状の送付 | |
| 5. 夏季休暇にまつわる諸業務 | |

2017.07

長田会計事務所 NEWS LETTER

小倉 優花 (インターンシップ生)

「雑貨、インテリア集め」



私がやめられないことは、大好きな雑貨を集めることです。

小さい頃から、祖母がレース編みやトールペイントをしていたため、私もレースのものや花柄のものが大好きでした。

大阪にお気に入りの雑貨を扱っているお店があり、今でもぶらっと出かけたときに、ちょこちょこ買って帰ります。毎日使う可愛いカップやティッシュボックスケース、インテリアを見ているとともに幸せな気持ちになります。

私も夏休みに入ったら、暫くさぼっていたトールペイントの材料を買いにいって何かつくりたいなあと思っています。



長田会計事務所の ○○なコト

今月のお題： 「やめられないこと」

来月のお題は、
「夏といえば」です。

大江 未咲 (スタッフ)

「昼食を食べ過ぎてしまう」



お昼ご飯を食べるとき、ご飯を机の上に置くと、周りのスタッフからよく「量が多くない!?」と言われます。自分では多いと思わないのですが、ご飯の量が多くなったり、おかずを買いすぎているようです。

結局食べ終わった後は食べ過ぎで少し苦しくなることも多々あるのですが、毎日のように同じことを繰り返しています。

お昼ご飯を買う時は、お腹が空いているので足りなかったら嫌だという気持ちがあり、つい買いすぎてしまうのです。そして残すのはいけないと思い、結局食べ過ぎてしまうのです。

学生時代から比べると食べる量は減ったと思います。でも、それとは相反して体重が増えてきているので、ダイエットも兼ねて食事の量を見直したいです。



ある日の昼食。
揚げ物ばかりです。

編集後記

事務所NEWS編集部の編集長になって早半年、編集部は新聞の回を重ねるごとに、より一層熱が入ってきてています。今月からは、記事を書いたスタッフ達の似顔絵を入れるようにしました。

長田会計事務所に入所して9ヶ月目、会計や税務以外の仕事もこんなにあると/orは日々楽しみながら取り組んでいます。

みなさまから、「読んでるよ～」というお声をいただくと、なによりの励みになります!これからも、日々の業務はもちろん新聞も頑張ってつくってまいります。

